

コロナの死者急増、さいたま市の火葬場ひっ迫 予約取れず6日待ちも

9/6(火)毎日新聞

新型コロナウイルス流行の「第7波」が急拡大した8月から、さいたま市営の2カ所の火葬場がフル稼働している。新型コロナウイルスの死者が急増し、8月の火葬件数は例年より1割程度多かった。市は「8月にコロナ死亡者用の火葬枠を1件ずつ増やしたが、連日予約でほぼ埋まっている」としている。【鷲頭彰子】

同市内に住む女性の父親（83）は新型コロナウイルスに感染した末、8月21日に死亡した。食事が取れなくなり、入院していた医療機関で院内感染した。女性は「点滴療養中の弱っているところに院内クラスターで感染した。重症ではないが、体力が奪われて亡くなったケース。第7波の典型のような形」と説明した。死亡直後に火葬の予約をとれず、浦和斎場（桜区）で火葬されたのは6日後だった。それまで民間業者で遺体を保管してもらい、1日1万円の保管料を負担した。女性は「火葬までに時間がかかるのは仕方ないが、高齢者など弱い人たちが第7波の影響を受けていると感じざるを得ない」と話す。

市によると、浦和斎場と大宮聖苑（見沼区）の年間の火葬件数は計約1万1000件。両火葬場とも10基の火葬炉を備え、1日最大21件対応できる。火葬は通常、冬の1～2月が最も多く、あわせて月1100件ほど。本来、夏は少ない時期で、炉を修繕することもある。

だが、県内の1日当たりの新型コロナウイルスの死者数は7月終盤から増え始め、8月12日以降は連日10人を超え、後半には20人近くとなっている。両火葬場は、コロナ死亡者用の火葬枠を1日2件から3件にそれぞれ増やした。例年計900件ほどだった8月の火葬件数は今年は計1000件を超えたという。県内の1日当たりの感染者数は減少傾向にあるが、市の担当者は「まだまだ火葬の件数は減ったイメージはない」と話した。

今日のyoutube紹介下線をクリック

●新型コロナウイルスで0歳・11歳死亡 2人診察した医師「子どもが急速に重症化するケースも」注意点は 鹿児島県

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2966fed2939bee91730ac59fec87b7226d9ec778>

●手続き簡略化も…「依然、不安は残る」 新規感染者の全数把握見直し カギは行政のバックアップ〈宮城〉

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8a82d652246ea5886cc6ad004f2cc2ea487e4a2c>

●感染急拡大のいわき…救急と医療の今（福島）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/12cfbceec59646380575371a96b2dceb656c42ca3>

●【新型コロナ】第7波は収束傾向なのか？ 専門家「順調にいけば一定の所まで減ると予想」鹿児島

<https://news.yahoo.co.jp/articles/39626ca24daa35fa074df874a45b1494bd4c89e0>

●【山形】新型コロナ「全数把握見直し」メリット大きい

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e26aa1199383fab36856e2a963fdc2504feeaccd>

●沖縄の新規感染者1637人 8人死亡 政府は療養期間短縮の新たな方針示す

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a11a9c5740c0122b3dcd6303831388d6506e3c91>

●高齢化や新型コロナ感染拡大で都市部でも在宅医療のニーズが高まる

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7d872dd20e4725d9e81e29fb6da51c3e1d94b3d3>

今日のPDF紹介下線をクリック

●医師が警鐘を鳴らすコロナ後遺症「重力に逆らえないレベルの倦怠感が続く」恐怖感

●「コロナ後遺症」徳島県内で相談急増 8月184件、7月の4倍近く 外来担当医師は診療体制拡充求める

●政府が新たな感染症対策 医療機関に罰則、23年度中に司令塔組織